

## 平成30年度 第3回安曇野市図書館協議会 会議概要

1	審議会名	平成30年度 第3回安曇野市図書館協議会
2	日 時	平成31年3月12日 午後1時30分から午後3時30分まで
3	会 場	安曇野市穂高交流学習センター 多目的交流ホール
4	出席者	三澤会長、別府副会長、中村委員、初谷委員、田守委員、樋口委員、古川委員、小田委員
5	市側出席者	丸山図書館交流課長兼中央図書館長、青柳豊科図書館長、遠藤三郷図書館長、百瀬堀金図書館長、伊藤明科図書館長、沖係長、奈良澤副主幹、中山主査
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	3 人 記者 1人
8	会議概要作成年月日	平成31年3月28日

### ○会議の概要

1 開会 (丸山課長)

2 あいさつ (三澤会長)

3 協議・説明

(1) 平成 31 (2019) 年度安曇野市図書館事業計画 (案) について

(2) その他

4 その他

- ・安曇野市図書館キャラクター「ぼぼん」の決定について
- ・安曇野市子ども読書活動推進計画 (仮称) の策定について
- ・安曇野市図書館の利用状況について

3 協議・説明概要

(1) 平成 31 (2019) 年度安曇野市図書館事業計画 (案) について

各館長より説明

委員・平成30年3月に、第2次安曇野市図書館基本計画が配布されましたが、今回説明いただいた内容は、その計画にある「点検・評価」に反映されているのでしょうか。それとも今後もう少し明らかにして、クローズアップしていくのでしょうか。

事務局・「点検・評価」については、毎年6月ごろ行われる協議会にて行われる事業報告の際に、成果および改善点ということとさせていただきます。図書館では講座など様々な事業を行っていますが、毎回担当職員がそれぞれ反省をし、次回へ向けての改善点をまとめていく形で、検証・見直しをしています。

委員・そういった「点検・評価」を、この時期に前倒して行うような仕組みを考えれば、より成果がクローズアップできると思います。また、31年度の計画にある「推進事業」は、第2次計画の「計画の推進」のそれぞれどこに該当しているか説明してください。

事務局・推進事業については、第2次基本計画の中にあります7つの基本方針に該当するということとなります。例えば推進事業（1）資料の収集を進める ということについては、基本方針（1）もしくは（2）に該当します。基本方針はそれぞれ数値目標の設定をしてあるので、数値的などところも見据えて改善していきたいと思っています。

委員・図書館に来る目的として、昔のことを知って今に生かそうという温故知新のようなこともあると思います。今回の計画を見ると、講座の内容が未定というところもあるので、高齢者の方々の知恵をうまく引き出すような企画を考えていただければと思います。

議長・そのあたりのことは、図書館だけではなく、公民館や地域の中でも考えていかななくてはいけない問題であると思いますので、行政側に働きかけることも必要であると思います。

委員・点検・評価について、年度ごとに数値目標を設定しているのであれば、計画に掲げれば良いと思います。その数値に照らして、どこまで達成できたかということを年度ごと評価できれば良いと思います。それから、現在図書カードを作っていない市民の方が56%いますが、その方々にどのように働きかけていくのでしょうか。セカンドブック事業や、YA向けの新聞などがこれにあたるのでしょうか。

事務局・数値的なものは、前年度と比較したものを事業報告の際に出していますが、数値目標を立てて検証ができるように検討していきたいと思っています。図書カード未登録の方へは、様々な事業を通じて図書館を知ってもらう機会を増やすところから始めています。図書館で待っているだけではなく、図書館が外へ出ていく「おでかけ図書館」という事業も行っていく予定です。YA世代の利用が少ないという状況は課題であるため、今年度からYA向けの情報誌を発行していますが、新しく開館した三郷図書館ではヤングアダルト関係の貸し出しも大分伸びています。

委員・職員研修について、図書館職員が持っているべき最新知識とはどのようなもののでしょうか。また、今年度までの研修内容はこういったものなのでしょうか。

事務局・職員研修は年2回行っております。一つは地域を学ぶ研修で、来年度は豊科地域にゆかりのある人物などについて学ぶ予定となっております。また、最新知識・技能ということでは、図書の分類が八進法から十進法になるということもあり、その勉強会をしていく予定です。また、県主催の様々なメニューのステップアップ研修に各職員が年に2回参加しています。全国的には、年1回図書館総合展というものが開催されておまして、そこに自費で参加する職員もいます。

委員・市民が日常的に本と人と出会える図書館にするためには、レファレンスの充実が必要だと思っておりますが、そのための具体的な施策をお聞きしたいです。

事務局・市民の方もなかなか相談しにくい雰囲気があるかもしれませんので、気軽に聞ける体制を整えたり、職員のスキルを上げていく必要があると思っています。

委員・図書館の研修は確かに必要だと思っております。今の市民のニーズはいろいろあると思っておりますが、人間の生活に直結した、役に立つ検索の仕方などの研修もしていただきたいです。

委員・提案ですが、読書会やボランティアグループの団体などがありますので、そういった団体の活動紹介を図書館フェスタなどのときに出来れば、仲間づくりの機会も増やせていいと思います。

委員・図書館の豊かな発展に一番大事なのは、豊かな蔵書とゆとりのある人員だと思います。若い世代が悩むような問題について、図書館に行けば教えてもらえるということがあれば、来てもらえるのではと思いますが、そのためにはレファレンスの充実が非常に大事だと思います。

## (2) その他

委員・図書館の豊かな発展のためには、数値の目標を上げて競わせるのではなく、蔵書と人という土台をしっかりさせることが必要だと思います。そのことを踏まえ、非正規の図書館司書という職員の方が10年務めた場合、昇給などはあるのでしょうか。また、非正規の職員さんを無期雇用できるのでしょうか。それから、正職員の司書を増やしていただきたいという要望があります。

事務局・図書館司書については、市の非常勤職員という形で採用しているため、図書館司書をどうするということがなかなかできない状況です。また、市の規定で昇給はないということになっております。正職員の司書に

ついても、市の職員の中には資格を持っている者もおりますが、人員配置は市の全体の中で考えられているため、現状から急に増やすことは難しい状況です。

議長・その件は、数年前に図書館の運営を直営にするか民営化するかという議論のときにも出た話題です。もちろんお願いはしていく必要はありますが、市の全体のルールもありますし、ここだけでどうすることもなかなかできないのではと思います。

委員・安曇野市民にとって大きな役割を果たす図書館の職員さんの待遇の改善については、市全体の財政の状況もあると思いますが、協議会として要望を上げていくことが大事だと思います。

委員・図書館のことについては安曇野市としても方針があると思いますが、まずは全県的なレベルを見たり、図書館の電算化によってどれほどの業務がどう動いたかなどの分析をきちんと行ったり、データベースをしっかりと固めることがまずは大事だと思います。

議長・今年度の協議会は今回で終わりとなります。ここで、今のことについて意見書を上げることは難しいと思いますので、こういった課題があるということを来年度に引き継いで検討していくということではいかがですか。

委員・第二次計画に、(7) 人員や資金を含めた限られた資源の有効活用を図るとありますが、こういった有効活用なのか具体的に示していただきたいです。

事務局・限られた人員・予算の中でどう利用者の方により良いサービスを提供していくかですが、昨年三郷図書館が出来て施設整備が終わりましたので、これからはソフト事業の充実を図っていくということになります。あまりお金をかけなくとも、利用者の方に楽しんでいただける施策を考える必要があると思っています。

委員・私は学校の立場で参加させていただいていますが、4点申し上げたいと思います。1点目、私の出身地の上田では、学校図書館には司書資格がない職員が臨時で採用されていますが、安曇野市では17校すべてに司書資格保有者が勤務しており、時給も事務より高額です。2点目、再来年度、長野県図書館大会が安曇野市で行われます。それは、県内それぞれの情報を交換し、学校、公立図書館の取り組みを学び、自分のところの報告をする、大切な研修の機会です。3点目、読書感想文についてです。取り組み状況について、県内の第3位が安曇野市でした。郡市の規模でいえば小さな安曇野市の出点数が第3位というのはすごいことだと思います。安曇野市子ども読書推進計

画の策定にあたっては、子どもの読書環境が全てベースにあるということを踏まえていただきたいと思います。4点目、読書感想文については、ネット社会の弊害で、感想文の虎の巻がインターネット上に出回ります。本来の読書や感想文の在り方について、それぞれの職員がしっかり受け止めて子どもたちに伝える必要があります。

#### 4 その他

事務局から説明

**議長**・ありがとうございました。何か委員さんの方から御意見御要望等ございましたらあげていただいて、なければこれで閉じさせていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。

それではこれで第2回図書館協議会を閉じさせていただきます。

以上